

阿蘇海環境づくり協働会議 平成27年度の取組

1 清掃活動等の実施（行政・地域団体等が協働実施）

●夏の阿蘇海清掃（海藻類・漂着ゴミの回収）

地域住民、海洋高校及び橋立中学校生徒が参加。
回収した海藻類は一部肥料にも活用。

<与謝野町男山区>

- 【実施日】7月12日（日）
- 【場 所】岩滝海岸
- 【参加者】約136名（学生40人含む）
- 【回収量】約1.0t



<宮津市府中地区>

- 【実施日】7月13日（月）
- 【場 所】天橋海岸～大垣海岸
- 【参加者】約90名
- 【回収量】約2.4t



●NPO国際ボランティア学生協会と連携した阿蘇海清掃

大学生ボランティアを受け入れ、より大規模な清掃活動を実施。また、活動を通じて地元住民との交流を深め、新たな取組の場づくり・環づくりを推進

<7月阿蘇海清掃> ※大学生40人参加

- 【実施日】7月11日（土）～12日（日）
- 【内 容】①カキ殻回収（岩滝海岸、文珠水路）
②男山区アオサ回収（再掲）
③野田川清掃（後野区）
- 【参加者】①岩滝海岸約50人、文珠水路約65人
②約136人（再掲）
③約50人
- 【回収量】①岩滝海岸：約1.5t、文珠水路約6.5t
②約1.0t（再掲）
③約50kg
- 【交流会】55人参加（町長、各区長、文珠繁栄会等）



<8月阿蘇海清掃> ※大学生88人参加

- 【実施日】8月27日（木）～29日（土）
- 【内 容】①カキ殻回収（文珠水路：27, 28日）
②阿蘇海一周清掃（29日）
- 【参加者】①27日：約103人、28日：約108人
②29日：約133人（天橋立、各海岸等）
- 【回収量】①約20.95t
②軽トラ4台分（可燃・不燃ゴミ中心）
- 【交流会】114人参加（副市長、各区長、漁業者、野間地区）



<2月阿蘇海清掃> ※大学生 103人参加

- 【実施日】2月22日(月)～25日(木)
- 【内容】①22,24,25日：カキ殻回収(文珠水路)
②23日：カキ殻回収(岩滝海岸)
- 【参加者】①各日：約120人
②23日：約180人(海洋高校含む)
- 【回収量】カキ殻(約80t)
- 【交流会】約130人参加(各区長、文珠繁栄会、野間地区)



●秋の清掃活動

<与謝野町東町区>

- 【実施日】9月13日(日)
- 【場所】区内護岸及び歩道部
- 【参加者】35人(地元少年会含む)



<阿蘇海清掃：宮津市府中区>

- 【実施日】10月15日(木)
- 【場所】天橋海岸
- 【参加者】約50人
- 【回収量】4.2t



●第7回天橋立運河「かきがら」撤去大作戦>

- 【実施日】11月25日(水)
- 【場所】文珠水路付近
- 【参加者】約80人
- 【回収量】約6t



2 啓発活動の推進

●阿蘇海フェア(フォーラム)の開催

中高大学生の取組発表などを通じ、住民、団体、行政等の協働をより一層深め、「阿蘇海流域ビジョン」の実現に向けた取組の環づくりを更に推進するため開催

- 【実施日】2月23日(火)
- 【場所】知遊館
- 【参加者】約300人
- 【内容】講演、活動発表(橋立中、海洋高、国際ボランティア学生協会)、トークセッション、共同宣言(市町)



●環境ポスター掲示による啓発活動(市、町)

地域の小学生を対象に環境改善絵画コンクール実施。入賞作品をパネルやポスターにして、地域内で掲出するなど意識啓発も実施

- 応募数 宮津市：5小学校64点
与謝野町：9小学校200点



●アースガーデンみやづ2015への参加（市、振興局）

地域の環境イベントで阿蘇海流域の環境改善をPR

【実施日】 10月24日（土）～25日（日）

【場所】 丹後海と星の見える丘公園

【来場者】 約600人



3 環境学習の推進

●環境学習のサポート（NPO、府、市）

NPOや行政職員による小中学校の環境学習サポート。

阿蘇海流域の環境、野田川のサケ、生き物調査等

○6月19日（金）加悦中学校3年生（NPO）

○7月15日（水）府中小学校4年生（振興局）

○7月20日（祝）川の学校（NPO）

○11月4日（水）与謝小学校5年生（町、振興局）



●阿蘇海浄化への挑戦～ソーシャルデザインの実践～（宮津高校）

SSN（独創的な科学研究ができる人材育成を目的とした事業）の一環として実施。京都府立大学の三橋教授の指導のもと、天橋立と阿蘇海を科学するサイエンス・フィールドワークを実施し、具体的な取組を企画

○阿蘇海をきれいに！「つぶやきポスター」作成



●アマモ場造成研究（海洋高校）

アマモ場復活による阿蘇海的环境改善に取り組む。

○5月12日（火）阿蘇海アマモ場追跡調査

○6月8日（月）宮津湾アマモ生殖株の採取

○12月9日（水）阿蘇海試験区でのアマモ播種試験（約2万粒播種）



●全国アマモサミット in くまもとへ参加（海洋高校）

阿蘇海のアマモ場復活の取組発表のほか、全国のアマモ場や海洋環境の改善に取り組む高校生と意見交換を実施

【実施日】 10月3日（土）～5日（日）

【会場】 やつしろハーモニーホール（熊本県八代市）

【参加者】 40人（全国10高校）



●里海環境学習～青空ラボ（海洋高校）

野田川流域と阿蘇海のつながりやアマモ場造成、丹後の海の生き物たち等を、水中映画「私たちの里海（in丹後）」を活用して環境学習を実施。

○11月18日（水）与謝小学校4、5年生

○12月9日（水）吉津小学校5年生

○1月20日（水）加悦小学校5年生



●アオサ・カキ殻肥料化試験（橋立中学校）

阿蘇海で回収したアオサとカキ殻の肥料化試験。
トマト栽培により施肥の効果を測定し、暮らしの中での
身近な自然との関わりについて学習

○6月16日（火）アオサ・カキ殻回収、トマト植付



●エコキッズ与謝野(与謝野町立中央公民館)

森と河川の環境学習を通して阿蘇海の浄化を考える。

○日 程 年間6回実施

○会 場 野田川及び野田川上流域の森林など

○参加者 延べ76人



4 農業者関係の取組

●浅水代かき実演会・交流会（町）

○日 程 5月8日（金）

○会 場 与謝野町後野区公民館周辺

○参加者 約30人



●自然循環農業（京の豆っこ肥料）の推進（町）

豆腐工場からでたおからを作った「京の豆っこ肥料」
を推進し、化学肥料から有機質肥料にすることで、与
謝野町ブランドを確立するとともに、阿蘇海等環境に
優しい農業の促進を図る。



5 水産事業者の取組

●「天橋立育成あさり」の育成・販売（漁業者）

平成24年度までに開発した育成技術により、身入りが
大きく栄養分の豊富なアサリを育成。阿蘇海の水質浄化
にも貢献

●文珠産天然カキの販売（漁業者）

文珠水路付近に堆積するカキ及びその死殻は、天橋立
の景観やアサリ等の生育環境の阻害要因等として懸念
されている。その天然カキを商業利用することにより、
新たな特産品開発、観光振興、景観保全等一石三鳥の
取組を目指す。

○12月～4月10日まで販売予定。



6 地域の主体的な活動

●サケのふるさとプロジェクト

野田川に遡上するさけの見守り活動を通じて、周囲の
環境保全や、暮らしと自然との関わり方を考える。



※赤…新規事業

<川の学校（後野区）>

川遊びを通じて、野田川に遡上するサケや生き物とその環境について学習

- 日 程 7月20日（祝）
- 場 所 後野公民館付近
- 参加者 約78人（後野区子ども達、海洋高校生）



<鮭のふるさとフォーラム in 与謝野（NPO）>

NPO 丹後の自然を守る会が主催
京都大学の田中名誉教授の基調講演等、野田川に遡上するサケを通じて、森～里～海の繋がりを考える。

- 日 程 9月12日（土）
- 場 所 与謝野町生涯学習センター知遊館
- 参加者 約70人



●ちよこボラステーションの設置（NPO、市、町）

いつでも誰でも気軽に「ちよこっとボランティア」ができるようステーションを阿蘇海周辺3カ所に設置。市町指定ゴミ袋の配布、回収ゴミの一時預かりを開始。回収ゴミの処分場への運搬は市町が行う。

- 吉野茶屋（文珠）
- 一ノ宮汽船乗り場（府中）
- 阿蘇シーサイドパーク（岩滝）
- クアハウス岩滝
- 与謝野町役場野田川庁舎
- 与謝野町役場加悦庁舎



●野間地区カキ殻×竹炭土壌改良資材製造試験（野間地区）

大学生のボランティア活動・交流会により新たに繋がりができた京丹後市野間地区において、竹炭（放置竹林）とカキ殻を混合した土壌改良資材づくりを実施

- 【実施日】11月28日（土）～29日（日）
- 【参加者】野間地区住民＋大学生約10名
- 【内 容】カキ殻と竹炭を混合した土壌改良資材づくり



●美味しい野菜を食べて美しい阿蘇海を！（NPO）

NPO ブルーシー阿蘇が主催
阿蘇海のへどろから合成可能なゼオライトを使った生ごみ堆肥で作る安心、安全で美味しい野菜。「エコの環」野菜の料理実習を通じた交流・啓発活動

- 7月12日（日）～生活習慣病対策 和食の料理教室～吉津地区公民館（参加者6名）
- 10月31日（土）～さつまいもを掘ってヘルシー料理を作ろう～吉津地区公民館ほか（参加者7名）



●天ぷら油の回収（NPO、市、町）

流入負荷削減の取組として実施。市町庁舎のほか、公民館、観光施設、保育所にも回収ボックスを設置



※赤…新規事業

7 行政による取組

●阿蘇海における水交換調査（振興局）

阿蘇海の抜本的な水質改善策を立案するため調査を実施

- 野田川から阿蘇海への流入量調査
- 阿蘇海と外海との接続部における流出入量調査
- 阿蘇海における水交換現象推計のための基礎的分析



●阿蘇海環境条例の制定（宮津市、与謝野町）

平成 27 年 3 月に策定した阿蘇海流域ビジョンの実現を目指し、宮津市及び与謝野町が共同条例を制定

- 条例制定講演会：5 月 29 日
- 条例制定検討会：8 月～2 月（10 回）
- 条例施行予定：平成 28 年 4 月 1 日



阿蘇海フェアで共同宣言

●天橋立砂浜の機械除草（丹後土木事務所）

近年、砂浜を浸食する雑草を根こそぎ機械除草。白砂青松の美しい天橋立景観の保全に努める。

- 施工時期：7 月



●シロザケが還る川づくり（丹後土木事務所）

野田川に遡上するサケの新聞報道や地元の声を反映し野田川河川改修計画を見直し。プール式魚道の採用やサケ等生態系への影響を最小限に抑えた時期での施工等、多自然川づくりに努める。

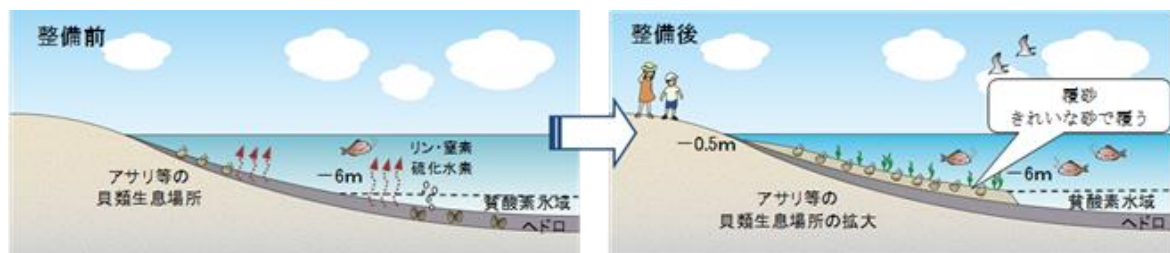
- 施工時期：2 月～



●阿蘇海シーブルー事業（丹後土木事務所）

平成 27 年度までに約 18.11 h a の覆砂工を実施

- 事業期間：H5～30／全体計画：35 h a



●下水道事業、浄化槽設置補助（市、町）

●EM菌投入による全小中学校プール清掃（町）

※赤…新規事業